

事例番号:280319

原因分析報告書要約版

産科医療補償制度
原因分析委員会第六部会

1. 事例の概要

1) 妊産婦等に関する情報

初産婦

2) 今回の妊娠経過

妊娠 39 週 1 日 羊水過少(羊水インデックス 2.1cm)と診断

3) 分娩のための入院時の状況

妊娠 39 週 5 日

時刻不明 定期妊婦健診のため当該分娩機関受診

14:15 羊水が少ないこと、胎児機能不全の疑いで入院

4) 分娩経過

妊娠 39 週 6 日

14:04 羊水過少あり、陣痛開始により一過性徐脈の頻発が予測されるため

帝王切開により児娩出

胎児付属物所見 羊水ほとんどなし

5) 新生児期の経過

(1) 在胎週数:39 週 6 日

(2) 出生時体重:2546g

(3) 臍帯動脈血ガス分析:pH 7.33、PCO₂ 43mmHg、PO₂ 23mmHg、HCO₃⁻ 24mmol/L、
BE -2mmol/L

(4) アプガースコア:生後 1 分 9 点、生後 5 分 10 点

(5) 新生児蘇生:実施せず

(6) 診断等:

生後 1 日 排尿なし

生後 2 日

10:48 心拍数 63 回/分、不整、心拍聴取不可、胸骨圧迫、気管挿管、アドレナリン
注射液投与などによる蘇生実施

12:09 高次医療機関 NICU 搬送、入院

血液検査でカルウム 8.5mEq/L、胸部レントゲン撮影で肺野クリア、ベル型

12:36 血液検査:クレアチニン 1.65mg/dL

14:04 除細動 1 回実施後、心拍波形 SR(洞調律)

(7) 頭部画像所見:

生後 10 日 頭部 MRI で大脳基底核周囲の低信号を認める。

生後 3 ヶ月 頭部 MRI で大脳に広範囲の虚血・嚢胞変化を認める。

6) 診療体制等に関する情報

(1) 施設区分:診療所

(2) 関わった医療スタッフの数

医師:産科医 2 名

看護スタッフ:助産師 1 名、看護師 1 名

2. 脳性麻痺発症の原因

(1) 脳性麻痺発症の原因は新生児期の高カルウム血症に伴う重篤な不整脈(心室細動)および心不全による脳血流障害であると考ええる。

(2) 高カルウム血症の原因を解明することは困難であるが、胎児期からの乏尿が関与した可能性は否定できない。

(3) 胎児期からの乏尿の原因は不明である。

3. 臨床経過に関する医学的評価

1) 妊娠経過

妊娠中の管理は、一般的である。

2) 分娩経過

(1) 妊娠 39 週 5 日、羊水過少症、胎児機能不全の疑いのため入院管理としたことは一般的である。

(2) 妊娠 39 週 5 日、19 時 30 分以降、遅発一過性徐脈ありと判断し、ほぼ継続し

て分娩監視装置を装着したことは、医学的妥当性がある。

(3) 羊水過少症あり、陣痛促進は危険が伴うと判断し帝王切開の方針としたことは一般的である。

(4) 臍帯動脈血ガス分析を行ったことは一般的である。

3) 新生児経過

(1) 生後1日までの児の排尿に関すること、および生後2日に低体温および低血糖が発生したこと、6時00分に心電図モニターを装着したことについて、看護スタッフが医師に報告した記録がないことは一般的ではない。

(2) 生後2日、10時48分以降の急変後の対応(気管挿管、胸骨圧迫、アドレナリン注射液投与)は一般的である。

(3) A医療機関に新生児搬送したことは一般的である。

4. 今後の産科医療向上のために検討すべき事項

1) 当該分娩機関における診療行為について検討すべき事項

観察した内容、判断や対応などを詳細に診療録に記載することが望まれる。

2) 当該分娩機関における設備や診療体制について検討すべき事項

(1) B群溶血性連鎖球菌スクリーニングは妊娠33週から37週に実施することが望まれる。

【解説】「産婦人科診療ガイドライン-産科編2014」では、妊娠33週から37週での実施を推奨している。

(2) 新生児管理指針に関する再発防止のためのシステム改善の検討がなされており、今後も継続してより良い体制作りをすることが望まれる。

3) わが国における産科医療について検討すべき事項

(1) 学会・職能団体に対して

地方自治体に対して、妊娠中のB群溶血性連鎖球菌スクリーニングを、「産婦人科診療ガイドライン」で推奨する時期に公的補助下に一律に実施できる制度を構築するよう働きかけることが望まれる。

【解説】「産婦人科診療ガイドライン-産科編2014」では、膣分泌物培養検査(GBSスクリーニング)を妊娠33週から37週に実施することを推奨しているが、検査費用の公的補助制度によって同時期の実施

が難しい地域がある。

(2) 国・地方自治体に対して

なし。